

2020 年 3 月 30 日

助成事業実施報告書

団体名 ハーモニークラブ

代表者・役職名 氏名 代表 伊東伸浩

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子育ちステーション「ハーモニーカフェ」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

2016年3月、地域有志で子ども誰でも食堂を運営すべく9人の地域有志で発足。3年間地域の小学校家庭科室、保育園ホール、集会所を借りて月に数度食事提供をしてきました。加えて昨年11月に地域商店街にカフェが開店したので、新たにそこを借りて学習支援と食事支援を合わせたハーモニー塾と親向けのセミナーを開講しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

多摩市諒訪地区。都営団地を中心にひとり親世帯比率が高い地区です。そのため子どもの孤食など、学習・食事環境などが充分に整っているとは言えません。育児ストレスからくる虐待の萌芽も見逃せない要因の一つです。簡単には解決できな課題ですが、まずは親のストレス軽減の方策を実施することが求められています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

親のストレス軽減策として、2方向からアプローチしました。1つは、「ハーモニー塾」として子供の食事支援と学習支援をします。週に一度サポートすることでその数時間は、子育てから解放される時間として、少しでも親を解放したいのです。もう1つは、様々なセミナーの実施。子育てや家事が楽しくなるようなメニューを開発し、二次的にはそこで知り合った者同士が同じ悩みを持つ仲間としてコミュニケーションをとることで、孤独感の解消を図って欲しいと企画しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

●結果：「ハーモニー塾」実施回数は20回。延べ参加者数168名。セミナーは12回。延べ参加者数96名。●成果：子供たちは定着したメンバーで、来訪すると言葉かけしなくても宿題を始めるようになりました。食事を終えると食器を洗って自由時間を楽しみ20時に解散します。自習習慣が根付いてきたと感じます。親向けセミナーはテーマによって参加者のばらつきが目立つが、総じて食事系に人気がありました。これらを通して親同士の繋がりも出来つづると感じます。●効果：社会に与えた影響は明確には述べられませんが、いずれの運営に関しても参加者が明るく積極的になったように感じます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

何よりよく認知されていないことが課題です。活動自体はニーズがあり、まだ活性化できると感じます。今後は広報活動も積極的に行い、認知を高めることで、参加者を増やしたいと思います。そのことで、参加料が増え、最終的には自活して運営できるようにしたいのです。アンケート調査なども取り入れ、テーマ設定も色々と試行して、求められているニーズを探ることで、まだまだ活性化できると自負しています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

○参考資料あり

